



小江戸・川越市



所沢市



和光市・桜並木



新宿三丁目



池袋

つながり はばたけ 新空港線 (蒲蒲線)

新空港線整備計画の概要

整備主体	鉄道・運輸機構又は第3セクター
運行主体	鉄道事業者
概算事業費	1,080億円 (物価上昇などによる上昇の可能性有り。平成28年度再調査)
費用便益比(便益/費用) ※事業が社会に貢献する程度を分析する手法。1.0以上は社会的に意義のある事業とされる	1.65>1.0 (開業後30年間の便益など)

「都市鉄道等利便増進法」に基づき、整備主体と運行主体を分離する方法を想定しています。

800mの分断が
新空港線でつながる。



JR渋谷駅



横浜ランドマークタワー



JR蒲田駅前



京急蒲田駅前



羽田空港

新空港線が国の答申で高い評価!

平成28年4月20日に、国土交通省の交通政策審議会で15年ぶりとなる答申が出されました。この答申は、今後の東京圏の都市鉄道整備の指針となる重要なものです。

答申では、「矢口渡から京急蒲田までの事業計画の検討は進んでおり、事業化に向けて関係地方公共団体・鉄道事業者等において、費用負担のあり方等について合意形成を進めるべき」と記載されました。

答申に記載されている24プロジェクトのうち、都内のプロジェクトで「～すべき」と記載されたものは、新空港線を含む6プロジェクトだけであり、高い評価を受けました。

新空港線の効果は?

新空港線整備は、以下の効果が期待されています。

- ・区内の移動利便性向上 = 鉄道を利用した東西交通が便利に!
- ・おおたのまちづくりを推進 = 鉄道整備とあわせて沿線のまちづくりを推進!
- ・地域の活性化に寄与 = 大田区における経済波及効果は約1,400億円! ※

※関西大学宮本勝浩名誉教授による算出。建設投資と消費支出の各経済波及効果を足した初年度の額。

早期整備に向けて、皆様のお力添えを!

答申に記載されているとおり、矢口渡から京急蒲田駅間の早期整備に向けて、国、東京都、鉄道事業者とより一層連携を強化しながら、関係機関等との合意形成を進めていきます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

